



愛川ふれあいの村 今月の風景

2023年10月 自然のたより

百舌（モズ）の高鳴きが秋空に響き渡ります。第1ファイヤー場のまわりではカケスがジャージャーと鳴きながらシラカシやスタジイのどんぐりを食べに来ています。銀杏も村内の道を黄金色に染め始め、記録的な猛暑が続いた夏から村は一気に秋模様になりました。

そして、北国からジョウビタキが冬を越すために村を訪れるのも、この頃です。今年の猛暑が鳥の渡りにどんな影響を与えるか少し心配もありますが、今年もたくさんの冬鳥が見られればよいと思います。（高梨）



イノシシにくっついたイノコズチ



キタテハとクロスズメバチ



オオタカ



イノシシに似たイノコズチ



ゴンズイの実



アワブキの実



ツリフネソウ



ヤブコウジ



アレチヌスビトハギ



ホシホウジャク



ヨモギトリバ



アサギマダラ



ウスキツバメエダジャク



イカル



エゾビタキ

トピックス ★虫の声★

「ああ面白い虫の声」、という歌詞で歌われるように、夏の終わり頃から小さな虫たちの綺麗で面白い声が聞こえ始めます。秋になると、昼夜問わず声を聞くことができ、私は穏やかな気分になります。

「虫の声」という歌の中では、マツムシは「チンチロリン」、スズムシは「リンリン」、コオロギは「キリキリ」などと表現されています。トリの鳴き声でも、コジュケイは「チョットコイ」、サンコウチョウは「ツキ、ヒ、ホシ、ホイホイ」と聞こえるなど、鳴き声を文字で表したものをよく見かけます。本当にそう言っているようにも感じますが、みなさんはいかがでしょうか。歌詞や世間の意見通りの声に聞こえるようにも思いますが、私は違うようにも聞こえます。英語と日本語で動物の鳴き声の表し方が違うことも有名です。これらのことから言えるのは、同じ声を聞いても感じ方は人それぞれだということです。何かの声を聞いた時に、こんな声が聞こえたと周りにいる人に伝えてみると面白そうです。いやこんな声だよ、と自分とは違う感じ方を知ることができるかもしれません。

秋はまだ始まったばかり。これから虫たちは元気に鳴いて私たちに心穏やかな時間をくれることでしょう。村にある原っぱはもちろん、街中でも植物があれば虫たちが集って面白い声を聞かせてくれます。この秋は、ぜひ虫の声をたくさん聞きに出かけてみてください。(石川)



生き物 ★ハラビロカマキリ★

この時期になるとカマキリたちが元気になってきます。その中でも「ハラビロカマキリ」について少しご紹介したいと思います。

ハラビロカマキリは樹上性と言って、木の上など高い所に生息しています。そこに飛んできた小型の昆虫を捕食しています。カマキリのお腹を水につけるとたまに「ハリガネムシ」という寄生虫が出てくる場合があります。カマキリたちは寄生されたことによって操られてしまいます。そうして川など水辺に誘導してカマキリは溺死させられ、ハリガネムシは水の中へ逃げていきます。その宿主にハラビロカマキリは選ばれやすいのです。

ただその溺れたカマキリを川魚が捕食します。生態系はこのように上手く回っているのです。(小熊)



旬 ★ザクロ★

実りの秋！ふれあいの村でも沢山の草木が実をつけています。その中でも今回は、ちょっと不思議な果実「ザクロ」をご紹介します。6月頃にはタコさんウィンナーのような花をつけます。ザクロはカリウムやビタミンCを多く含んでおり、高血圧の予防やむくみの解消、美肌効果などが期待されます。他にも書ききれないほど沢山の成分が含まれており、疲労回復や免疫力アップとまさに、「スーパーフード」です。海外では食べられることの多いザクロですが、日本では食用ではなく、観賞用として植えられていることが多いそうです。シロップやスムージーと様々な活用ができますが、私はまだ食べたことがないので、まずは生で食べてみたいと思います。

(川原)



来月の見どころ

たねの旅(生きる工夫)

花の時期が過ぎると、植物には種ができます。種はあまり自立たないのてついで見逃してしまいがちですが、よく見ると生きる工夫が見られます。風を利用する種子は、吹く風を利用しふわふわと綿毛を飛ばすタンポポやプロペラのように舞うイロハモミジやヒマラヤスギ等があります。

動物にくっついて運ばれる種子の工夫は、種の先端が曲がって鉤のようになっていておまけに種子の数が多いたが特徴です。イノシシに似たイノコブスやキンミズヒキ、オオオナモミなどがあります。返しのある刺を持つコセリやダンゴサやヤブニンジン、べたべたで付着するノブキやチヂミザサ等も目立ちませんがいったんくっ付くと数も多く服の上からでもチクチクしたりべたべたしてとても厄介です。

鳥に食べられて運ばれる種類は、赤や黒でよく自立ち。美味しいので喜ばれます。ガマズミやニシキギ、モッコク、モチノキやヒサカキなどがあります。雨を利用するチャダイゴケの仕組みとその工夫も面白いです。(吉田)

